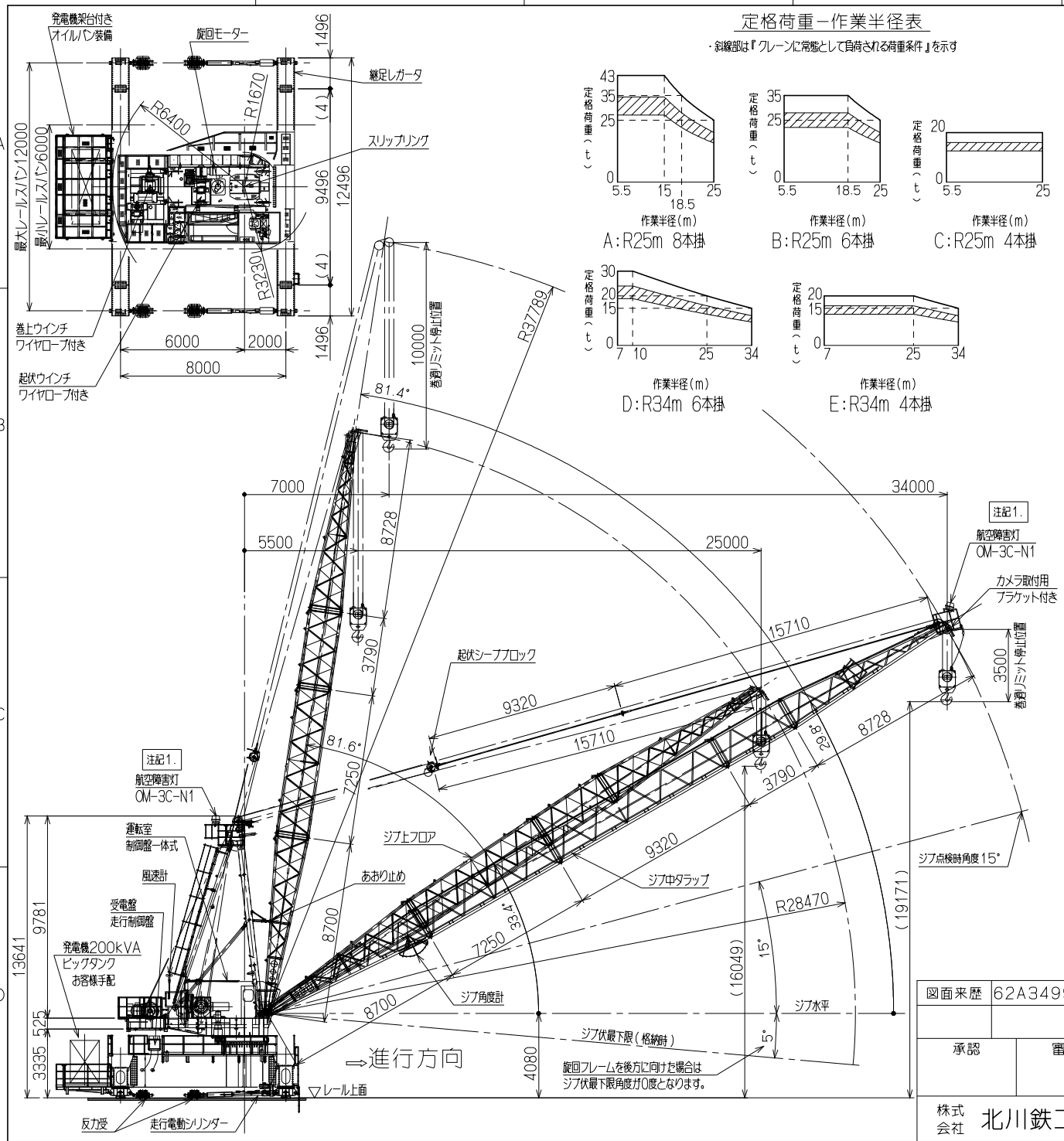
MF	納入先	エム・エム　ブリッジ株式会社殿	
	改訂番号	日　付	改　訂　理　由



能　力　仕　様						
モーメントカーブ		A	B	C	D	E
ジブ呼び		R25m			R34m	
ロープ掛数		8本掛	6本掛	4本掛	6本掛	4本掛
つり上げ荷重		46t	38t	23t	33t	23t
最大定格荷重		43t	35t	20t	30t	20t
作業範囲	作業半径	5.5~25m			7~34m	
	レール下　揚程	25m	45m	50m	35m	50m
	ジブ角度	33.4°~81.6°			29.8°~81.4°	
	旋回角度	全旋回				
定格速度	巻　上 最大定格荷重~軽負荷最高速度	0.07~0.17m/s (4.2~10.5m/min)	0.09~0.23m/s (5.5~14.0m/min)	0.14~0.35m/s (8.3~21.0m/min)	0.09~0.23m/s (5.5~14.0m/min)	0.14~0.35m/s (8.3~21.0m/min)
	起　伏	0.10m/s(6.2m/min)			0.14m/s(8.6m/min)	
	旋　回	0.05rad/s(0.48rpm)				
	走行 50/60Hz	0.029/0.035m/s(1.75/2.1m/min)				
電動機	巻　上	45kW 6P 40%ED インバータ制御				
	起　伏	24kW 4P 25%ED インバータ制御				
	旋　回	11kW 4P 15%ED インバータ制御				
	走　行	5.5kW 4P×2台 電動シリンダー				
ワイヤロープ	巻　上	モノロープSP 4xF(40) φ20				
	起　伏	IWRC 6xP·WS(31) φ20				
電　源		AC 400/440V 50/60Hz 3φ				
		発電機容量 200kVA / 商用電源容量 110kVA				
走行時最大勾配		± 6%				
安全装置		過負荷防止装置、巻過防止装置、巻出過防止装置 起伏制限装置、作業範囲制限装置				
クレーン製品重量		約63t			約64t	

・クレーンに常態として負荷される荷重条件
　区分：常態として定格荷重の63%以上80%未満の荷重の荷をつるクレーン
・つり上げ装置等の使用時間：800時間以上1600時間未満
・荷重を受ける回数：6.3×10⁴回以上1.2×10⁵回未満
　（つり上げ装置等の等級：B、作業係数：1.08）

注記

1. 走行はジブを進行方向に向け　ジブ角度を指定角度とした上で、無負荷にて行うこと
2. 走行時以外は、転倒防止装置、逸走防止装置を必ず施工のこと
3. 走行レールは37kg/m又は50kg/mを平行に並べ使用のこと（最小半径R150m）
4. クレーン製品重量には発電機（ビックタンク）5t、発電機架台1.5tを含む
5. 定格荷重－作業半径表の斜線部は常態として使用可能な範囲を示す（定格荷重の80%を上限とする）
6. 巻上、起伏ワイヤロープはプレテンション加工品とし、直径指定、破断力指定ありとする
7. クレーン作業時は、旋回輪据付レベルが水平になるよう調整のこと
8. 航空障害灯の型式は設置高さ90m未満とする
　OM-3C-N1低光度航空障害灯（32cd）
　設置高さが90m以上の場合、ジブ先端を中光度赤色航空障害灯（OM-6C-N1）に変更が必要

図面来歴	62A349987　62Z347929	尺　度	1:200	形式	JCB650N	重量	kg
承認	審査	設計	大山	名称	トラベラクレーン クレーン外形図		
株式会社	北川鉄工所	作成年月日	24.01.25	三角法		図面番号	62Z 35 2064 0